

学校教育目標	自他を尊重し、主体的に学び続ける子どもの育成	
--------	------------------------	--

a ミッション	組織的な学校経営と小中連携による主体性・表現力の育成	a ビジョン	(1) 自他を尊重し、これからの社会をよりよく生きるための能力を身に付けさせる。 (2) 保護者・地域から信頼される学校になる。 (3) 教職員の総力を挙げた組織的で機能的な教育活動の推進を図る。
---------	----------------------------	--------	--

尾道市立因北小学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
主体的に学び続ける児童を育てる。	課題意識を持ち、自ら課題を解決しようと粘り強く取り組もうとする姿。	・基盤となる学力を高めるために「きめる」「表す」「見つめ直す」授業づくりを進める。	・国語・算数の単元末テストにおける知識・技能が定着している。	80%										
	自分たちで、学校や社会を充実（楽しく）させるために行動する姿。	・学習や経験を活かす行事や特別活動等において児童が課題意識を持ち、自ら考え、行動できるような場の設定、指導をする。	・体育的行事（1学期：運動会、2学期：持久走大会、3学期：なわとび大会）や学習発表会に向けて、一人一人が努力目標を持ち達成している。	90%										
幸動する子（主体性・表現力）	自他の考えを持ち、自他の意志でよりよい判断をする姿。	・自他ともによりよく生活するために3つの宝を行動に移す。 ・自分がしてもらっていることに気付かせ、それに感謝するとともに、感謝の気持ちを返すことまでを考えた単元づくりや取組をする。	・3つの宝を意識して行動している。	90%										
	自他を尊重し、よりよいものを求め表現する児童を育てる。	相手意識を持ち、場に応じた表現、説得力のある表現、感謝の気持ちを表現する姿。	・表現の目指す姿を具体的に設定し、その実現に向けて、組織的で統一的な指導を行う。	【「学びの変革」アンケート】 ⑧授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表の工夫をしています。 ⑩授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	80%									

【自己評価 評価】

A: 100 ≤ (目標達成)
C: 60 ≤ (もう少し) < 80

B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
D: (できていない) < 60

【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。 ハ: わからない。